

# 南郷サマージャズフェスティバル2008

2008.7.19 NANGO SUMMER JAZZ FESTIVAL

## アーティストプロフィール

### オープニング

#### 八戸工業大学第一・第二高等学校 吹奏楽部

高尚な芸術への入り口であり、それでいて奏者、聴衆の双方が楽しめる親しみやすい演奏は、クラシックからポップス・ジャズなど様々な融通性を兼ね備えたユニークな音楽形態で幅広く愛されている吹奏楽。今回兄弟校として切磋琢磨している両吹奏楽部が今回混合編成にてその音を披露します。

#### 八戸工業大学第一高等学校吹奏楽部

これまでに東京・普門館で開催された吹奏楽コンクール全国大会に2度、アンサンブルコンテスト全国大会に2度出場という、輝かしい実績を持つ。華麗でダイナミック、かつ色彩的なサウンドを特色とする。

#### 八戸工業大学第二高等学校吹奏楽部

吹奏楽コンクール県大会の出場歴があり、各種イベントへの参加実績も多彩である。各楽器の音色のブレンドが良く、バランスのとれた、まろやかなバンドカラーが特色である。

クリスマスシーズンの一高演奏会、早春の二高演奏会、ともに市民の馴染みとなっている。

### 第 1 部

#### 市原康トリオ with 市原ひかり



市原 康  
drums

市原康・古野光昭・福田重男・市原ひかり



古野 光昭  
bass



福田 重男  
piano



市原 ひかり  
trumpet, flugel horn

リリカルでありながらドライブ感を知っていて、時たま底知れぬ熱さを感じるピアニスト福田重男と、リズムと包容力とソロのおもしろさ、そして熱くやさしい音、アルコ(弓)ベースの美しさはジャズのジャンルを越えた世界観を持つベーシスト古野光昭、ブラシを使ったパーカッシヴなドラミングを得意とするスタジオ・セッションミュージシャンとして4ビートからフュージョンまで幅広い活動でバイ・プレイヤー・タイプの名手でもあるマルチなドラマー市原康をリーダーに2004年1月「TRIO」(トリオ)を結成。

そしてスイングジャーナル誌主催の2006年ジャズディスク大賞ニュースター賞を受賞した市原ひかりをゲストに迎えた親子共演のカルテット編成。洗練さと温かさを兼ね備えたオリジナルティ溢れるロマンティシズムを醸し出すトリオと温かい音の意欲的アプローチで破綻なく端正にまとめたトランペットソロが安らぎを与える演奏である。

### 第 2 部

#### 小山太郎カルテット

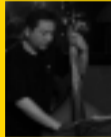


小山 太郎  
drums

小山太郎・田中裕士・生沼邦夫・近藤和彦



田中 裕士  
piano



生沼 邦夫  
Bass



近藤 和彦  
alto saxophone  
soprano saxophone

心地好いスピード感と正確無比なリズムそして一音一音の粒立ちの美しさを持った爽やかな笑顔を絶やさないドラマー小山太郎が、山野ビッグバンドコンテストで最優秀ソリストを受賞した逸材、熱帯JAZZ楽団、守屋純子オーケストラ、エリック宮城EMビッグバンドなどで活躍のサクソ奏者近藤和彦、情熱と哀愁のピアニスト田中裕士、内省的にうたいあげ且つしっかりとキープされたベーシスト生沼邦夫でお贈りする、ドラムの魅力と現在進行形の日本ジャズの最良の形で捉えた渾身のカルテット演奏。

大胆で自由な精神のアレンジ発想で、曲ごとにスタイルを変幻させ様々なジャンルの音を表現している。

### 第 3 部

#### 村田陽一・オーケストラ



村田 陽一  
trombone, piano

村田陽一・三好"3吉"功郎・小松秀行・佐野康夫  
奥村晶・松島啓之・青木タイセイ・津上研太  
本間将人・竹村直哉・次田心平・萩原顕彰



三好"3吉"功郎  
guitar



小松 秀行  
electric bass



佐野 康夫  
drums



奥村 晶  
trumpet



松島 啓之  
trumpet



青木 タイセイ  
trombone



津上 研太  
alto saxophone



本間 将人  
tenor saxophone



竹村 直哉  
baritone saxophone



次田 心平  
tube



萩原 顕彰  
French horn

ビックバンドジャズの面白みは、緻密で息の合ったアンサンブルと活気溢れるアドリブ・ソロに尽きりますが、卓越した作曲編曲に恵まれば最高であります。そんな三拍子が揃い、痛快この上ない醍醐味を満喫出来るのが、日本ジャズ界の実力派ばかりを集めた、贅沢なスーパー・ビック・バンド「村田陽一オーケストラ(12人編成)」です。メンバーは、人気・実力共にトッププレイヤーで、各自がリーダーを務めるグループ編成でも活躍している日本を代表するアーティストであり、国内バンドで見られないチューバとフレンチホルンの編成にも要注目。トロンボーン・コンポーザー・アレンジャー更にはこのバンド限定でピアニストとして活躍するリーダー村田陽一は、卓越した作品力とスタープレイヤーの技を醸し出す才能が満ち溢れた新世代の旗手でもあります。

吹奏楽を愛する小学生・中学生・高校生・社会人は、そのサウンドとパフォーマンスのとりこになること間違いありません。

### 第 4 部

#### MALTA JAZZ QUINTETT.plus



MALTA  
alto saxophone

MALTA・布川俊樹・平下政志・ジーン重村  
早川哲也



布川 俊樹  
guitar



平下 政志  
keyboards



ジーン重村  
drums



早川 哲也  
bass

第1回日本ゴールド・ディスク大賞の受賞などアルトサクソ奏者MALTAは、東京芸術大学音楽学部器楽科卒業後、パークリー音楽大学に留学し、4年の課程を2年半で習得し、1年半同校で教鞭、そしてデューク・エリントン楽団、チャールズ・ミンガス、ジャック・マクダフ等の一流ミュージシャンと共演後、名門ライオネル・ハンフトン楽団に迎えられ、同バンドのリード・アルト兼コンサートマスターに就任するなど輝かしい経歴がある。また、「HIGH PRESSURE」は、全米発売にもなり、大ヒットアルバムとなるなど、実力人気とも日本を代表するアーティストである。

通算30枚目にして初のLIVEアルバムを2006年8月に発売し、自身のバンドをM.J.Q.plus(MALTA JAZZ QUINTETT.plus)として活動。バンドメンバーには、伝説のフュージョンバンド「ヴァリス」や「ウルトラマンジャズ」のリーダーでもあるギタリスト布川俊樹も加わり、そのサクソ・プレイで観衆のみならず、一緒に演奏した人たちの心に多くの夢と感動を与え続けている。

### 第 5 部

#### ORQUESTA DE LA LUZ



NORA  
vocal

NORA  
JIN  
GENTA  
YOSHIRO SUZUKI  
JIM MIYAMOTO  
TAKAYA SAITO  
KAZUTOSHI SHIBUYA  
ISAO SAKUMA  
YASUSHI GOTANDA  
HITOSHI AIKAWA  
DAISUKA MAEDA



JIN  
vocal



GENTA  
timbales



YOSHIRO SUZUKI  
bongo & chorus



JIM MIYAMOTO  
Congas



TAKAYA SAITO  
piano & chorus



KAZUTOSHI SHIBUYA  
bass



ISAO SAKUMA  
trumpet



YASUSHI GOTANDA  
trumpet



HITOSHI AIKAWA  
trombone & chorus



DAISUKA MAEDA  
trombone

1984年秋、日本人サルサバンドとして東京で結成。原宿クロコダイルや六本木ビットインなどのライブハウスを中心に活動を始める。

88年にリードシンガーNORAがNYのエージェントに持ち込んだデモテープがきっかけで、翌年NYでのライブのチャンスをつかむ。このメンバー自費による初のNYツアーが大成功となりCDデビューへ。1990年1stアルバム「デ・ラ・ルス」(洋題「サルサ・カリエンテ・デル・ハボン」'日本からの熱いサルサ')を日本ではBGMピクチャー(現BGMファンハウス)、アメリカではRMMよりリリース。全米ビルボード誌ラテンチャートで首位を獲得し、以後11週間連続キープする快挙となる。以降、全米、中南米、ヨーロッパを含む世界22カ国をツアー、計6枚のオリジナル・アルバムの発表、日本レコード大賞特別賞受賞(91&93)、国連平和賞受賞(93)、NHK「紅白歌合戦」出演(93)、グラミー賞トロピカル・ラテン・アルバム部門ノミネート(95)など輝かしい活動を展開するが97年それぞれのメンバーのソロ活動を重視し、グループを解散。

2001年9月11日の米国テロ事件をきっかけに、翌年平和を訴えるチャリティイベントを主宰し、5年ぶりの再結成コンサートを行った。そして翌年も行われたこのワールド・ピース・ミュージック・フェスティバルの反響がきっかけとなり、2004年7月、新生デラルスとして9年ぶりのオリジナル・アルバム「iBANZAAAY!」をエイベックス・イオから発表、多数のイベント、フェスティバルへの参加、全国ツアーなど精力的なライブ活動を展開。

05年7月に新譜「ARCO IRIS」を発表し、テレビ出演やライブ活動を行う一方、10年ぶりに行ったヨーロッパ・ツアーで現地のファンを沸かせた。

お体をご不自由で心配されている方は  
7月12日までにご連絡下さい。

八戸市社会福祉協議会南郷支局(高橋幸治まで)  
☎0178-82-3000 AM9:00~PM5:00受付(平日)